

HAND in HAND

はんど・いん・はんど

【大阪ニコニコ離婚講座100回記念によせて】

■「主婦症候群」が文化出版局から出版されたのが1982年の4月。7月に関西テレビが1週間の特番「主婦症候群」を放映してくれるというので、10ヵ月の身重をもちえりみず、飛行機で大阪に入ったのが7月4日。せっかく5日間も大阪にいたら、とハンド・イン・ハンド17号によびかけて、投宿先のロイヤルホテルで7月7日（水）に集まったのが大阪ニコニコ離婚講座立ち上げのきっかけでした。

■それから15年近くの歳月が流れたわけです。最初の3年ほどは毎月東京からでかけて講師を務め、終わると近くのおでん屋や明石焼き屋にいったりと、楽しい思い出が一杯。松尾道子弁護士は私より年下なのに姉さんぶってるところがあり、「仕事しすぎて、からだ壊したらあかんよ」といつも言っていたのに、あっというまに癌で帰らぬ人となってしまいました。竹川幸子弁護士は細くて小柄なあのからだのどこにこんなタフなエネルギーを秘めているのかと思える頼りになる人で、世話係の渡部梢さんとのコンビが、大阪の講座とハンドの会を支えてくれました。

■東京のニコニコ離婚講座が100回を迎えた（1988年10月）のを機に金住典子弁護士らと離婚制度研究会をつくり、毎月勉強会を続け、法務省の審議会にも意見書を出しました。しかし、今度の民法改正案の中の離婚制度の項を見ると、財産分割についても生ぬるいし、養育費や婚姻費用分担についてもほとんど改善されておらず、女性と子どもをとりまく離婚の現状は早急には変わりそうもありません。

■そういう中で、ニコニコ離婚講座、離婚110番、ハンド・イン・ハンドの会の活動はまだまだ必要とされるのかもしれませんが。女性と子どもが、そして男性も生きやすい社会と心ゆたかな人間関係をめざして、まだまだ皆さんと共にエネルギーを燃やしたいと思います。（円より子）

海を渡る鳥は、波間を漂う流木に憩うという。離婚—それは旅の半ばの一つの出来事。新たな旅立ちをした女たちはいま手を取りあい、女であるがゆえの偏見と差別に向きあう。ハンド・イン・ハンドは生きやすい社会をめざし、支えあう女たちの流木である。

173

第173号 600円 禁無断転載

【発行日】1997年3月1日

【発行所】現代家族問題研究所

【連絡先】〒150 東京都渋谷区
神宮前6-34-3-201

TEL & FAX 03-5512-2738

【発行・編集人】円 より子

【スタッフ】向井通江 星野美子

【印刷】(株)日出島

東京・大阪離婚事情比較

— 東京・大阪ニコニコ離婚講座アンケートから —

1984年3月に大阪でニコニコ離婚講座を正式に始めてから13年。昨年の6月で1000回を迎えました。遅ればせながら2月15日(土)に記念シンポジウムを開きました。50回記念の時には会報で報告しましたが、東京と大阪の講座アンケートを比較してみました。

1. 調査年月日

東京 93年1月～95年11月

(第145～175回)

※大阪のアンケート数に近い数になるよう中間に当たる部分を集計。

大阪 91年3月～96年6月

(第51～100回)

2. 参加者数

東京1192名、大阪1080名

3. 調査対象

東京はアンケート回答者523名(回収率43・9%)のうちの初回参加女性484名。

大阪はアンケート回答者345名(同31・9%)のうちの初回参加女性301名。

大阪は前回(50回まで)のアン

ケート回答者は158名でしたが、前回より積極的に協力を呼び掛けたので、回答者数が増えています。

4. 居住地

東京は、都内が40・7%(区内32・6%、都下8・1%)と圧倒的に多く、以下神奈川19・0%、埼玉16・7%、千葉12・0%と続いています。

大阪もやはり府内が67・4%と多く、兵庫16・9%、京都4%、奈良4%と続いています。

5. 職業

大阪は無職が前回より増え、半数を超えています。パートを含めても有職率は東京と比べると低い。

6. 年収

年収についても大阪は無しが48・8%と東京(39・7%)より高い。

収入が有る人の中でも300万円未満の占める割合が大阪は69・7%(東京61・8%)と、東京の方の年収が高くなっています。

夫の収入についても東京の方が高いのですが、別居が多いせい、か、東京、大阪とも、夫の年収を

夫職業

職 種	東 京	大 阪
自 営 業	13.4	15.0
会 社 経 営	3.7	3.0
管 理 職	2.1	3.3
一 般 職	57.2	47.8
専 門・技 術 職	7.2	5.6
公 務 員	2.7	7.3
自 営 手 伝 い	0.2	0.0
パ ー ト	0.4	0.3
そ の 他	2.7	5.3
無 職	2.1	1.3
不 明	8.3	11.0

夫年収

年 収	東 京	大 阪
無	0.2	0.7
100万未満	0.0	0.0
100～299万	0.6	2.3
300～399万	5.2	6.3
400～499万	9.5	9.6
500～699万	18.8	17.3
700～999万	22.3	15.9
1000万～万	19.8	17.6
不 明	23.6	30.2

妻職業

職 種	東 京	大 阪
自 営 業	3.7	2.3
会 社 経 営	0.4	0.0
管 理 職	0.0	0.3
一 般 職	20.0	12.6
専 門・技 術 職	5.0	4.3
公 務 員	1.0	2.3
自 営 手 伝 い	3.7	3.7
パ ー ト	20.2	18.6
そ の 他	1.2	3.3
無 職	40.3	51.8
不 明	4.3	0.7

妻年収

年 収	東 京	大 阪
無	39.7	48.8
100万未満	8.5	7.3
100～299万	21.3	17.9
300～399万	7.6	3.3
400～499万	5.0	1.7
500～699万	3.1	3.3
700～999万	2.1	2.0
1000万～万	0.6	0.7
不 明	12.2	15.0

居住地(東京)

都道府県名		%
東京都	区 内	32.6
	都 下	8.1
神奈川県		19.0
埼玉県		16.7
千葉県		12.0
茨城県		1.4
群馬県		1.2
栃木県		1.0
その他		2.9
不 明		5.0

居住地(大阪)

都道府県名		%
大阪府	市 内	22.6
	市 外	44.9
兵庫県		16.9
京都府		4.0
奈良県		4.0
滋賀県		2.0
和歌山県		0.7
大分県		0.3
不 明		4.7

妻年齢

年 代	東 京	大 阪
20代	10.1	8.6
30代	43.6	35.9
40代	29.8	35.2
50代	12.2	16.6
60代以上	3.5	3.0
不 明	0.8	0.7

妻学歴

学 歴	東 京	大 阪
中 卒	1.7	0.7
高 卒	31.0	36.2
専・短大卒	29.3	28.6
大 学 卒	30.0	24.9
大 学 院 卒	1.4	0.0
旧制中・女学校卒	1.7	2.0
中・高 中 退	0.0	0.3
専・短大以上中退	0.4	0.7
そ の 他	0.4	0.0
不 明	4.1	6.6

夫学歴

学 歴	東 京	大 阪
中 卒	2.5	4.3
高 卒	21.1	25.6
専・短大卒	6.8	3.3
大 学 卒	54.5	45.2
大 学 院 卒	3.9	4.0
旧制中・女学校卒	0.4	0.3
中・高 中 退	0.0	0.3
専・短大以上中退	0.8	1.7
そ の 他	0.0	0.0
不 明	9.9	15.3

知らない人が多い。

7. 学歴

東京は①大卒・院卒31・4%、②高卒31%、③専門学校・短大卒29・3%の順で、大阪の①高卒36・2%、②専門学校・短大卒28・6%、③大卒・院卒24・9%と比べ学歴が高い。けれども東京、大阪とも一般的な進学率(短大19・9%、大学12・5%(75年度))と比べて高いことがわかります。

8. 結婚年数

大阪は①15～20年未満17・3%、②10～15年未満16・3%、③20～25年未満15・6%で、東京の①5～10年未満20・5%、②0～5年未満20・2%、③20～25年未満14・9%と比べ結婚年数が長く、そのためあって学歴が若干低くなっていると考えられます。

9. 子どもの有無

子ども有りは東京86・7%、大阪82・2%で前回とあまり変わっていません。

10. 参加したときの状況

前回と東京・大阪ともあまり変わらず、別居中が東京37・8%、大阪37・5%と多い。調停中も東京16・5%、大阪12%と高い。

離婚についての知識や情報を得

たいと思っていなくても、こういうことは出来るだけ避けたい、自分には離婚は関係ないと思いたいという心理が働くからか、差し迫った状況にならないと講座に参加しないようです。

また、大阪は「考え迷っている」が47・8%と(東京40・3%)高く、東京は夫婦の間で現実離婚が話題になっているケースが47・3%(大阪42・2%)と、大阪より離婚に直面している人が多い。

11. 離婚を考える原因

東京、大阪とも①価値観、人生目標が違う(東京63・6%、大阪57・5%)、②夫の不貞(38・4%、38・5%)、③相性が悪い(33・1%、29・2%)の順で高い。東京は④夫が家庭をかえりみない28・9%、⑤夫の経済力のなさ、経済観念の違い26%と続いています。大阪は④性的不一致27・2%、⑤夫の暴力22・9%が高くなっています。

12. 離婚を考えるときの障害

東京、大阪とも①生活力(東京64・7%、大阪65・8%)②子ども(48・8%、47・5%)③住居(39・7%、32・6%)の順で高く、順位は前回と変わっていません。

結婚年数

年 数	東 京	大 阪
1年未満	2.5	1.3
1～5年未満	17.8	13.6
5～10年未満	20.5	14.3
10～15年未満	13.6	16.3
15～20年未満	14.0	17.3
20～25年未満	14.9	15.6
25～30年未満	6.6	9.3
30年以上	7.4	9.3
不明	2.7	3.0

子どもの有無

子 の 有 無	東 京	大 阪
総 数	82.2	86.7
未 成 年 の み	54.3	59.1
未 成 年 と 成 年	7.0	7.0
成 年 の み	12.8	12.3
妊 娠 中	0.4	0.0
不 明	7.6	8.3
無	12.6	10.0
不 明	7.6	3.3

離婚を考えたことがあるか(複数回答)

回 答	東 京	大 阪
ない	0.4	1.7
とてもできるとは思わないが、考えたことがある	5.2	5.3
本気で考え迷っている	40.3	47.8
配偶者から離婚を言い出されたが、同意できない	13.4	13.6
離婚したいが配偶者が同意しない	17.1	14.3
離婚にお互い同意、条件について話し合い中	16.7	14.3
家裁で調停中	16.5	12.0
別居中	37.8	37.5
既に離婚	1.4	5.0
その他	3.9	4.7
無回答	2.9	1.2

離婚を考える原因

回 答	東 京	大 阪
価値観、人生目標が違う	63.6	57.5
夫の経済力のなさ、経済観念の違い	26.0	22.3
夫が家庭をかえりみない	28.9	22.3
夫の不貞	38.4	38.5
妻の不貞	0.8	0.7
夫のアルコール、酒乱	6.2	4.7
夫の暴力	19.8	22.9
子どもをめぐっての対立	10.5	10.0
親兄弟との折り合いが悪い	19.6	20.3
相性が悪い	33.1	29.2
性的不一致	22.7	27.2
夫のギャンブル癖	5.0	5.3
妻が働くことに対する理解のなさ	15.1	12.0
その他	16.1	16.3
無回答	2.1	3.0

離婚を考えるときの障害

回 答	東 京	大 阪
住居	39.7	32.6
生活力	64.7	65.8
子ども	48.8	47.5
老後の不安	22.7	21.3
一人で生きる不安	31.6	23.6
馴染んだ生活への未練	24.8	17.6
配偶者への未練	12.6	9.3
相手が離婚に同意しないこと	22.3	16.9
親兄弟の反対	6.4	5.0
世間体	15.3	11.6
その他	6.0	6.3
無回答	3.1	6.3

現在の状態

状 態	東 京	大 阪
初 婚	91.1	92.4
離 婚	3.1	5.0
再 婚	3.9	2.7
不 明	1.9	0.0

現在の状態2

状 態	東 京	大 阪
同 居	56.4	57.1
別 居	37.8	37.5
離 婚	3.9	5.0
不 明	1.9	0.3

大阪ニニコ離婚講座100回記念シンポジウム

「民法改正で家族は変わるか」

197年2月15日於ドーンセンター



大阪ニニコ離婚講座が昨年の6月で100回を迎えたのを記念して、2月15日(土)、ドーンセンター(大阪府立女性総合センター)でシンポジウムを開きました。

参加者は69名。講師として金住典子弁護士、キャロリン・ライトさん、円より子。

●離婚ではなく貧困が非行を生む
まず、円より子と大阪世話係・

さんによる開会挨拶が行われた後、京都精華大学院留学生で、大阪ハンド初の英国人メンバーキャロリン・ライトさんが「核家族社会におけるひとり親家庭」というテーマで、日英の比較研究を発表(通訳国本博子さん)。キャロリンさん自身シングルマザー(非婚で出産)で、3年前訪日し、6歳の息子さんと生活。その経験と研究を織りまぜ発表されました。

日英のひとり親家庭の状況はよく似ていて、価値観や社会的通念が問題となっていると問題提起。

「社会的に、ひとり親家庭は非常に少なく、2人親家庭が普通であり、理想だという考えがある。現

在ひとり親家庭は、英国では13.6%、日本では1.6%と少ないが、英国では16世紀には20%(多い時代には60%)が、日本でも18世紀の資料によれば西宮市の世帯の28%がひとり親家庭だったことがわかる。歴史的にみると2人家庭が普通だったとは言えない。

また、2人親家庭が理想という考え方には、2人親家庭の収入の多さの仕組みがある。日本も英国も男性中心の社会構造で、男性が主な収入の稼ぎ手で、女性は補助的な収入。女性が世帯主の家庭は貧困にならざるを得ない。女性は本来家庭にいるものと、補助的な仕事しかなく、不安定な雇用形態で働き続けることは難しい。賃金の男女格差も大きく、男性の平均賃金の日本では41%、英国では68%しか、女性は得ていない。日本と英国は状況は似ているが、日本の方が度がひどいと言える。



▲キャロリンさん

英国ではひとり親家庭に福祉給付があり、ひとり親家庭の58%が就労せずに、福祉給付で生活している。日本の生活保護ラインと同じ位で設定され、ギリギリの生活。日本にも児童扶養手当があるが、命綱になる反面、英国でも「福祉と結婚する」と言われるように、社会から蔑視されることになってしまふ。また経済的にだけでなく、子どもに対しても、ひとり親家庭の子どもは非行に走りやすいというレッテルを貼られてしまふ。

しかしこれは「ひとり親家庭だから」ではない。もうひとりの親がいたら得られるはずの収入がないからという、貧困に原因がある。

日本特有の問題として「戸籍」がある。非嫡出子・嫡出子の差別のように、戸籍があるためひとり親家庭への偏見が強くなっている。

また英国ではシングルマザーが多く、ネットワークができ、グループや機関もたくさんあったのに、日本へ来た当初は助けしてくれる人は誰もいなかった。息子と2人、保育所もなく、医者にも行けなかった。けれども最近、修士論文の追い込みと息子がインフルエンザにかかったのが重なった時、日本に

来て初めてこんなにたくさんの人に助けられていたと思えた。

社会的な通念、世間体人間は弱く、ひとり親家庭だからだめなんだと思ってしまうがち。でも、経済的な状況は個々人では変えられないけれど、悩みや迷いは助け合っていけば乗り越えていける。誇りを持って生きていけばいいのではないか」と話されました。

発表後、円が「日本では昨年の離婚件数は20万6000件で、20代、30代の離婚が圧倒的に多い。再就職が難しく、男女の賃金格差もあり、また財産分与や養育費の制度もきちんとしていないため中高年の離婚は難しい」と日本の離婚事情を説明し、英国の親権、養育費、面接交渉権について質問。

キャロリンさんは「母親が92%子どもをひきとっている。非婚カップルもいて正確にはわからないが、別れた父親の30%が養育費を支払っていて、月1万円位(福祉給付は月4万円)。英国では裁判離婚なので養育費、面接交渉等子どもの福利に関して全て裁判所を通して決定している。」と回答。

また財産分与に対する会場からの質問に「英国では合意できない



▲(左から) 渡部・円・金住さん

れば裁判で決め、70年代からは男女半々が基本」と答えられました。

最後に円が、「日本では財産分与は協議離婚の半数がゼロ。調停でも半数が決められていない。協議制度の改革については2部で議論しましょう」と休憩に入りました。

●改正に必要な5条件

第2部は「民法改正・5年別居破綻主義の問題点―財産分与と養育責任は?」のテーマでパネルディスカッション。

まず、円が「昨年2月に民法改正要綱案が法制審議会から答申されたが、閣議決定されず、まだ法案として国会に上がってきていないため、審議されていない」と、民法改正について説明しました。

次に金住弁護士がこの改正要綱案の問題点について説明。

「日本は経済大国と言われているが、性別役割分業が根強く、男女の対等性は世界で27位と低い。女性の賃金は低く、再就職も難しい。保育所や住宅政策も不十分で、養育費も85%が支払われていない。このような状況で「5年別居で離婚できる」という条項が通れば、多くの女性が離婚後の生活に不安を抱え、パニックに陥ってしまう。そこで経済的、精神的に困窮する母子の人権を守るため、百名を超える学者、弁護士が呼び掛け人となり要望書を作成し、「5年別居条項」導入にあたり、最小限必要な法整備について5つの提言を盛り込んだ。

まず、①別居中の婚姻費用分担請求の手続きは、現行の調停では平均11か月、審判では18か月かかり妻子が生活に困窮する。家事審判法を改正し、仮の措置の制度を新設、申立てから一ヶ月以内に措置命令が出されるようにすること。

②婚姻費用分担金や離婚後の扶養料について。民事執行法を改正し、強制執行の手続きを当事者が簡単に申立てできるようにする。給料や賞与の4分の1しか取立てで

きないのを、一定の生活保障額を決め、それ以上は強制執行できるようにする。また一度でも支払いがない場合、継続して取立てできるようにすること。

③健康なのに働かない場合や給料生活者でない等、調停調書や公正証書があっても強制執行が困難な場合、国やそれに代わる団体が肩代わりして支払い、相手から取り立てる制度を創設すること。

④居住用の不動産については、夫名義でも、妻の同意がなければ処分できないこととすること。

⑤財産分与は「財産分割」とし、婚姻中夫婦が協力して作った財産は原則として2分の1ずつ分割すると民法768条に明記すること。

この要望書には現在六百名を超える賛同署名が集まり、今後も署名活動を続け法務省に働きかけていきたい」と説明がありました。

その後、会場から離婚の法、手続きについて質問が活発に出され、金住弁護士に答えて頂きました。

最後に、円が「経済的に困れば精神的にも不安定で、子どもとの関係もうまくいかなくなるので、最低限の経済力は必要。福祉サービスや情報を持つこと。子どもと自



▲シンポの後、ハンドの懇親会

分にとって何が大切な優先順位を考えること。また子どもの送り迎え等、困ったときに助けてくれる人、友人のネットワークを作ることとも必要」と締めくくりました。

シンポジウムの後、記者懇談会を行い、東京・大阪離婚事情の比較や民法改正問題について朝日新聞、神戸新聞の記者と懇談。

そして、午後6時から和室で、大阪ハンドのメンバーと円、金住弁護士、キャロリンさんと懇親会を開きました。9時過ぎまで、時間を忘れ、語り合いました。

今後「5年別居」離婚条項改正にともなう諸条件の整備についてハンドでも署名運動を行っていきますので、ご協力お願いします。

阪神大震災から2年

— 神戸母子寮再建へ —

1月17日に阪神大震災から2年を迎えました。6425人が犠牲となり、被災地では自治体主催の追悼式が行われました。都市基盤は徐々に震災前の状態に戻りつつありますが、兵庫県内だけで、いまだに3万7000世帯が仮設住宅で生活しています。

この震災で、神戸市兵庫区の母子寮が全壊、職員1名、母親2名、子ども2名の5名が亡くなったニュースを聞き、早速現地を慰問し、「母子家庭震災援助金」からお見舞い金を贈ったことは、昨年会報でご報告しました。

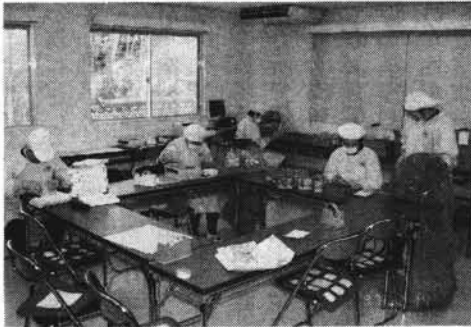
震災後、近くの市立母子寮に仮住まいを続けながら、母子指導員の岡本さん初め職員の方々が、毎日新寮の用地探し、資金集め等支援を求めて走り回りました。

その甲斐あって市民団体の支援で母親たちの就業訓練施設「クッキー工房 マミー」ができました。新寮も9月に着工、春には完成予定。17日、三回忌の朝、母子たちは5人の祭壇に再起を誓いました。

「もうすぐ竣工式を迎えます」

母子相談員・岡本由美

再建に向けて、皆でひた走りに走り続けてきたこの2年余。この4月に新しい神戸母子寮の竣工式を迎えることに。やっと立ち止まって微笑む季節が巡って来ました。ハンドの皆様を初め、全国からの暖かい応援がなければ、この春はなかったと本当に感謝しています。母子寮跡地には母親たちの職業訓練に創設した作業所「クッキー工房 マミー」が始動し、数名の障害者の方も受け入れています。これからはこの作業所の運営費の捻出が課題です。どうぞ私達の取組の主旨をご理解頂いて、ご協力頂ければ幸いです。



Q 結婚直後から夫の暴力が始まりました。些細なことで激高し、執拗に暴力を振るいます。

夫は弁護士、私は教員です。誰に相談することも出来ず、辛い日々をおくっています。穏やかな雰囲気の中で見た目がとても良く、私の同僚は「もう少し女らしく振る舞ったら？」と助言してくれます。確かに私は女らしさに欠け、至らないとは思っています。離婚したいと思って相手は弁護士、裁判所でも私が不利でしょうし、何より私が行動を起こした後の仕返しに怖いのです。結論さえ自分で出すことが出来ません。

弁護士 110 番

中で出来ることは限界があるので、自分からスーパーウーマンになることを要求しないことです。

夫が弁護士であることが、調停や訴訟で夫に有利ということはありません。裁判所は通常の民事事件では比較的公平です。社会的に作られた女らしさと若干個性が違う貴方と、暴力を振るう夫とは明らかに夫が悪いのです。貴方が女らしくても夫の暴力はあったでしょう。仕返しの問題も貴方が仕事を持っていて、逃げ隠れできないという辛い事情はあるけれど、一人にならないように親族、友人に協力を求め、家裁でも申立の段階で事情を話して、夫とは別の期日にしてもらうとか、調停の部屋をかえてもらう等の配慮を求める事も出来ます。

夫の信頼する友人がいるなら事情を話し、夫を病院やカウンセリングに連れて行ってもらうのも必要かもしれません。基本は貴方が決意して行動を起こすことだと思います。一人ではしんどいと思うので、最初から弁護士を依頼した方がいいでしょう。

弁護士 竹川 幸子
☎ 06-1393-11331



▲大臣室にて。(左から)赤石、円と小泉厚生大臣

児童扶養手当制度改正は

慎重な審議を！

厚生大臣・総理大臣に要望書提出

中央児童福祉審議会で、9か月に渡って、児童福祉法の改正が審議されていましたが、昨年12月3日に中間報告が出されました。

このうち母子家庭の支援策の中に、児童扶養手当について、離婚件数が急増し予算額が増えてきたため、前夫からの費用徴収が盛り込まれていました。児童扶養手当は、現在も離婚や非婚の母子家庭にとっては、命綱の手当です。

どのように前夫から児童扶養手当の費用を徴収するのか、明確ではありませんが、養育費の十分な制度化がないままの導入には、危機感を強く感じました。

そこで、「ハンド・イン・ハンド

の会」と、同じくシングルマザーのネットワークグループ「しんぐるまざあず・ふぉーらむ」とで、緊急に厚生大臣と内閣総理大臣に要望書を提出することにしました。

賛同を呼びかけ、ハンドの各地の世話係に知らせ、厚生大臣に時間を頂くよう交渉し、日程を取り決めました。

昨年12月25日(水)に「ハンド・イン・ハンドの会」のメンバー7名、「しんぐるまざあず・ふぉーらむ」のメンバー6名で厚生省へ行き、生別母子家庭の平均年収は202万円と一般の3割に過ぎず、9割の子どもが養育費を受けていないという厳しい経済状況を理解してもらい、まず雇用の場の確保と養育費の制度化が必要なこと、そして改正は十分な実態調査や意見聴取の上、慎重に審議してもらうよう、小泉厚生大臣に要望書を出しました。

厚生大臣自身シングルマザーで、現状に理解を示して下さい、慎重に検討しなければいけないと答えられました。

橋本総理とは日程が調整できず、1月17日(金)に総理府の担当課

に提出しました。この要望書に対し、80名、7団体(1997年1月17日現在)の賛同を頂きました。今後「しんぐるまざあず・ふ

おーらむ」と共同で、養育費の制度化等の勉強会を行ったり、請願書を作成し、署名活動を行っていききたいと思います。

賛同者(1997年1月17日現在、五十音順)

相澤光江(弁護士・弁理士)・渥美雅子(弁護士)・安部宝根(調布市議)・安藤ヨイ子(弁護士)・石川佳代(財団職員)・石田由実子(女性福祉法を考える会)・岩瀬房子(住専に怒る市民の会)・上原康夫(弁護士)・江尻美穂子(津田塾大学教授)・遠藤啓示・太田京子・大山美智子(弁護士)・沖藤典子(ノンフィクション作家)・落合良・小野紀美子(新宿区議)・戒能民江(東邦学園短期大学助教授)・梶谷剛(弁護士)・加藤シヅエ(元国会議員)・加藤タキ(コーディネーター)・加藤登紀子(アジア女性会議ネットワーク)・金住典子(弁護士)・川上恭子(パンドラ)・吉川武彦(精神科医、国立精神・神経センター武蔵病院院長)・木村晋介(弁護士)・木元教子(評論家)・小島妙子(弁護士)・小林カツ代(料理研究家)・小松源助(大正大学教授)・小松とし子(助産婦)・斉藤ゆう子(荒川区議)・酒井和子・榊原富士子(弁護士)・桜井陽子(団体職員)・佐藤隆夫(國學院大学名誉教授、弁護士)・塩田咲子(高崎経済大学教授)・杉山典子(調布市議)・須藤八千代(横浜市中福祉事務所ケースワーカー)・袖井孝子(大学教員)・宝井琴桜(講師)・竹川幸子(弁護士)・館かおる(お茶の水女子大学ジェンダー研究センター教員)・田中喜代重(弁護士)・鶴田静(エッセイスト)・土井良多江子(横浜市婦人相談員、福祉事務所ケースワーカー)・富岡恵美子(弁護士)・富沢よし子(杉並区議)・内藤和美(昭和女子大学短期大学部助教授)・中嶋里美(男女平等運動家)・中野理恵(パンドラ代表)・中村真理子・永井よし子(文京区議)・野原蓉子(日本産業カウンセリングセンター理事長)・林郁(作家)・林千代(城西国際大学教授)・林冬子(映画評論家)・平川和子(東京フェミニストセラピーセンター代表)・藤枝渚子(京都精華大学教員)・藤峯寿美子(会社員)・淵上貫之(弁護士)・船橋邦子(アジア女性会議ネットワーク)・古沢久美子(北区議)・宝力マサ子(住専に怒る市民の会)・星川一恵(新座市議)・堀田力(弁護士)・松岡かよ子(母母)・松本恵美(住専に怒る市民の会)・三木恵美子(弁護士)・宮重淑子(パンドラ)・矢倉昌子(弁護士)・山口菊子(豊島区議)・山口泰子(婦人民主クラブ)・山崎洋子(作家)・山田由紀子(弁護士)・山本美貴子(会社員)・ヤンソン 柳沢由実子(評論家、翻訳家)・吉岡睦子(弁護士)・依田精一(東京経済大学教授)・若竹りょう子(小金井市議)・若林苗子(会社員)・脇田直枝(佛電通アイ代表取締役社長)

賛同団体

戸籍筆頭者をなくす会
シングルマザーズフレンドシップ神奈川
児童扶養手当の切捨てを許さない大阪連絡会
児童扶養手当を18才に引き上げる会(代表・畠山裕子)
東京・生活者ネットワーク
養育費の国の立て替え制度を実現する会
よういくひ・ふぉーらむ



家計簿公開



第108回 千葉 Hさん

〔家族構成〕

私 39歳（警備会社事務員）

長男 9歳（小学3年生）

〔住居〕

親の持ち家（両親・末妹と同居）

★

32歳の時に別居、その後離婚届に相手のサインをもらうまで1年半かかりました。

離婚を言い出したのは私の方からで、理由は、相手の生活力のなさ、価値観の違い、等々。何かあると自分は逃げてしまい、後始末は全て私にさせ、本人も彼の親も知らんぷり。中でも一番耐えられなかったのは言葉の暴力です。

「200万やるから子どもをよこせ」と言われた時、こんな人に子どもを渡せないと思い、私と子どもはひとまず実家へ。子どもを保育園に預け、とりあえず事務のパートで1年位過ぎました。

別居前からパートに出ていたため仕事に出ることは苦ではなく、むしろ楽しかったほどのです。その後、

人の紹介で酒問屋の事務の正社員になりました。5年近く勤めましたが、人間関係が嫌で昨年退職。その後販売の仕事を転々としましたが、やっと現在の会社に正社員として採用されました。

ボーナスもなく、給料は低めですが、社会保険に加入でき、土日が休みなのでひとまず満足しています。私は喘息の持病があり、症状は割と軽いのですが、通院するので、社会保険はありがたいです。また土日の連休も、仕事でたまったストレスの解消や、子どもと休みが一緒なので助かります。職場の上司のセクハラなど、人間関係によるストレスも大きいのですが、頑張っているつもりです。

私の両親、姉妹、そして近所の人達も、私と子どもにいつも暖かい言葉をかけてくれ、環境には恵まれていたと思います。初めは子どもと二人で住むつもりでしたが、両親がよく世話をしてくれるので、それに甘えることにしました。

昨年は転職続きで収入も不安定になり、私自身イライラしていたことと、知り合った人と付き合い始め、デートで夜遅い日も多く、私の気づかないうちに子どもに過大

なストレスを与えていました。私や家族の財布から小銭を盗んだり、果ては近所の玩具店から万引きまでしていました。

家族で話し合い、子どもにも良く言って聞かせました。その後は子どもも落ちついていました。

私自身息子に八つ当たりしたことも多く、また彼とのことも母や妹からは「母親を取られたと思って不安なのよ」と夜のデートを非難されるばかり。その後、何度か子どもを交えて彼と会い、子どもも相手がわかったせいか、少しは理解を示してくれるようになり、家族からもやっと彼との付き合いを認めてもらえるようになりました。

良きパートナーとして、これからも一緒に過ごしていければと思っています。

ところが、やっと落ちついてきたと思った矢先、父の経営する店の借金のため、倒産寸前の事態に追い込まれました。土地を売って返済に充てる予定ですが、その土地に親戚が居住しているため、なかなか話が進みません。

家計簿の内訳でローン返済が大きいのですが、父の店のために借りた分です。車とワープロはあと少しで終わります。家族皆疲れ切っていて、今が一番大変なときですが、力を合わせ乗り切っていきたいと思っています。

家計簿内訳 (1997年1月分)

〔収 入〕	
給与（手取り）	120,000円
児童扶養手当	27,690円
計	147,690円
〔支 出〕	
食費	25,000円
学校給食費	6,000円
ガソリン代	1,500円
医療費	3,000円
教育費（学習塾）	6,000円
学資保険	13,500円
生命保険料	12,000円
積立貯金	10,000円
交際・娯楽費	10,000円
衛生費・雑費	15,000円
ローン返済	45,000円
計	147,000円

ハンド・イン・ハンドは、みなさんがつくる雑誌です。

みなさんの日常考えていることや、生活の匂いが伝わってくるような、そんなハンド・イン・ハンドでありたいと思います。お便りをどうぞお寄せください。

■本筋を考えて頑張ってください

T・H (東京・43歳)

離婚するために薬をもつかむ思いであつた私でも、今年8月に何とか調停離婚できました。

別居後約2年間、夫の嫌がらせ、暴言の他、私の弁護士姿勢にも悩まされ、実家の家族たちとも大変な関係になりました。

最大の問題は一人娘のことでしたので、夫、義父母のみならず、私の身内までが娘のことを離婚交渉の取引に使うようなものを見方をするので、人間不信にも陥り、とても辛い日々を過ごしました。

しかし今思うと、離婚のために通ってきた道、私を支える真の援助者(身内ではなく、特にカウンセラーや公的機関の相談員)の数々の言葉は、有意義であつたと実感しています。

172号の岐阜のM・Kさん、今の時代家の子だからと子どもから引き離される必要はないと思います。父方が育てていけないわけではありませんが、母親のあなたに

子どもを育てる覚悟があるのです

たら、あなたが育てないことには子どもにとっても大きな損失だと思ひます。民主主義の世の中で、ご主人とそこら親のなさることはおかしくありませんか？ 子どもは親や家のものではありません。

子どもにとって何が一番良いかを、裁判所も考えてくれるはずですよ。おかしな、しっかりして下さい！

敵が多い様子で、精神的に恐怖、プレッシャーが多々だと思ひますが、母は強しで負けないで下さい。

熊本のM・Hさんへ。私が依頼した弁護士も男性で、同様にひどい人でした。離婚するために親権を相手方に渡せとか、一時的にでも相手方に子どもを引き渡せと怒鳴り散らし、挙げ句の果てには何も交渉が成立しないのに解任後大金を請求され、無茶苦茶でした。でも

も当時は弱みを握られたと思ひこみ、仕方なく払いました。

そういう離婚交渉中の辛く苦しい経験が、現在の私を支えているようです。お陰で、法律、心理学、家

族問題の本を読みあさり、交渉の土俵に立ち、もまれたことで、随分強くなりました。何かされるとすぐカッとなったり、傷ついてしまふ癖のある私でしたが、相手も自分も突き放して状況判断をし、取るべき行動を考え、失敗してもさっさと軌道修正する力を備えられつつあります。

どうか相手の嫌がらせや弁護士の悪徳商法にもめげずに進んで下さい。いろいろと負担のかかることもあると思いますが、小さい細かい問題は切り捨てて本筋を考えて頑張ってください。

■児童扶養手当について

(愛知・?歳)

172号の表紙で円さんの書かれた若い父親は稀なケースで、ほとんどは養育費を払っていません。

子どもを養っていない親から税金を取って、その同額を子どもを養っている親の税金徴収額から差し引くというようにしたらいいか、でしょうか？ そうすれば、世の中のお金が動き、たとえその若い父親が送る養育費が減っても、母親の手元には同額が残ります。

■頑張りたいと思っています

I・K (埼玉・34歳)

昨年の夏に、夫から一方的に離婚したいと言ひ出され、何が何だかわからない中、円より子さんの本を何冊も読み、ハンドの会を知りました。すぐ会報を送ってもらい、同じように思い悩む人がこんなに多いのかとびっくりしたり、力づけられたり。

今年早々に、調停で離婚を決めました。今後ともハンドを身近に感じながら、頑張りたいと思ひています。

■離婚が成立するまで頑張ります

A・K (三重・?歳)

ハンドに入って1年半になります。あの頃は、別居後1か月で、お先真っ暗というどん底の状態でしたが、今では実家に世話になりながらも仕事を始め、落ち着いています。

夫と話し合っても平行線のままで、昨年9月に弁護士を頼み調停を申し立てました。調停委員の方は噂に聞いていたよりずっと優しく、常識的で、むしろ「離婚した方がお互いのために良い」とまで言っして下さいました。

後は夫が離婚に同意さえしてくれば、お互いの弁護士同士話し合っ、条件面で折り合いをつけ

るところとあります。しかし、同意しなければ裁判になるようです。調停委員も「若いお二人だから、傷つけ合うのは良くないと思う」と言っただけです。

まだまだ子どものことや近所の目、今後の人生等、悩みはたくさんありますが、何事も明るく、前向きに考えて、行動を起こすことが大切だと思っています。

2月25日の4回目の調停で、裁判が調停離婚か決める予定です。裁判になったとしても私は私の人生を自分らしく生きるために、離婚が成立するまで頑張ります。

■「離婚適齢期」が訪れたようです
(千葉・?歳)

ハンドに入会して10年目を迎えます。別居して5年、弁護士に離婚調停の依頼をする手筈が整いました。何人かの弁護士に会いましたが感性が合わず、悩んでいたところ友人から、ベテランで女性の方を紹介して頂きました。

離婚は結婚直後から考えていたのですが、様々な事情で実行に至りませんでした。長男も成人を迎え、いろいろなタイミングも合い、ようやく「離婚適齢期」が訪れたようです。今まで長い間その時を

待っていたのですから、私なりに「別れの美学」をモットーとしたいのですが、修羅場を覚悟しなければと思っています。

ハンドの会とも仕事やその他のことで、会報を読むだけの関係になって久しく、今後事情は変わ

★ハンド春合宿のお知らせ

今年の春合宿は、メンズクラブの方をお迎えしてお話を伺います。「男らしさ女らしさ」について考えてみませんか？ 宿泊は締め切りですが、3月30日のみの参加はできます。ジュニア・ハンド(小学高学年以上)のプログラムもあります。奮ってご参加下さい。

▼日程 3月29日、30日(土日) ▼

場所 国立婦人教育会館(埼玉県武蔵嵐山) ▼定員 大人、子ども45名、幼児 20名 ▼参加費 大人、子ども4500円、幼児 3500円。会費、交通費別途負担。 ▼申込 往復葉書に住所、電話番号、参加者全員の氏名、生年月日、年齢を明記の上、事務局向井までお送り下さい。

〒100千代田区永田町2-1-1 1-738 円より子事務所内 ☎03-55512-2738

りそうありません。皆様とは反対ですが、これを区切りとして退会いたします。そして、離婚成立の後は、機会があれば再入会して、離婚女性の老後のことなど学ぶことができればと思っています。

これからの闘いに努力したいと思っています。

お便り・お電話下さい

■お便りお待ちしております

(大阪・35歳)

離婚して仕事に働きに出て、息子(3歳)を保育園へと預けやると2年目。自分たちが暮らしていくのに精一杯で、誰にも話すことなく、誰にも頼らずに頑張ってきました。最近少しは周りが見えるようになってきました。

日曜日に一緒にお弁当を持って外でゆっくり遊んだりできたらと思います。初めは手紙で仲良くなりたいと思います。お便りお待ちしております。

■老後について考えませんか？

(東京・?歳)

離婚して十数年、50代も半ばに入り、老後を考える年となりました。

★「養育費の国の立て替え制度を実現する会」よりお知らせ

当会では会報を随時発行し、養育費に関する資料収集や、誌上勉強会等を行っています。次号には善積京子氏(追手門学院大学教授)にお書き頂き、スウェーデンの養育費立て替え制度について掲載する予定です。

欧米では個人主義が発達し、良い意味で福祉に反映されていますが、日本では「家」の発想がまだ根強く残り、家を守ることが第一に優先され、個人の権利、特に子どもの権利についての意識が稀薄です。私たちは、根気よくこの問題に取り組んでいきたいと思っています。

皆さんのお便りを募集しています。調停で取り決めたにもかかわらず支払いがないとか、離婚と引き替えに養育費の不払いを強制的に押しつけられた等、養育費に関することなら何でも構いません。ご協力をお願いします。

■仲間募集/会費 1口80円(切手で) 〒370高崎市鼻高町41-5 佐藤久恵まで郵送下さい。また ☎/FAX 0279-124-8937 伊藤あやのまで。

子どもも独立して行きつつあり、寂寥を感じ、ある種の焦りさえ感じるこの頃です。

これから先、如何に生きるべきか。生活、再婚、社会参加等…。同世代の方、話し合いの集まりを開きませんか？ ご連絡お待ちしております。

(夜または日曜日にお電話下さい)

世話係より

■連絡先と姓が変わりました。

(広島・?歳)

広島の世界係福島です。この度旧姓に戻り、実家に帰りました。連絡先を変更します。

■興味のある方はご参加下さい

(岡山・?歳)

岡山に「女のからだ、ここに」について学ぶ場、支え合う場、育ち合う場」というグループ「ウイメンズセンター岡山」があります。この方たちが左記のような講座を開催されます。興味のある方はどうぞご参加下さい。

★女のからだ」ところを考える連

続講座(第33回)

▼日時 3月8日(土) 午後6時半〜8時半▼場所 喫茶「ライラック」(岡山市本町)▼テーマ 離婚を考えているあなたへ▼講師 未定▼参加費 1000円▼申込 086-274-5059ウイメンズセンター岡山

■児童扶養手当について

(神戸・?歳)

児童扶養手当を前夫より徴収するという案について、神戸のメンバー内でも話題になっていて、皆大変関心を持っています。

現代の離婚の増加は大変な数ですが、何故急激に増加してきたのかを考える必要もあると思います。「勝手に離婚しておいて」という考え方があるのでしょうか。私たちは誰もが幸せになりたいと思っています。

子どもの代になると、もっと複雑な家族関係が出てくると思います。私たちの幸せのため、子どもの代のため、この案には反対です。

★会報に掲載したいお便りは、偶数月の5日までに表記の事務所向井までお送り下さい。

「家計簿公開」原稿も大募集!

★ハンドの仲間のお店紹介
和食器と雑貨の「ジェントリー」

さん(愛知・40歳)

85年3月、豊橋駅前に和食器と雑貨の店「ジェントリー」をオープン。その後、全国の小売店への卸業務が拡大し、88年に商品センター「ジェントリーワークス」を、90年に佐藤式古商品研究所を設立、独自の商品を開発してきました。

そのかわり各地で「ラッピング講座」を開催したり、CBCラジオ「式古のジェントリーライフ」で暮らしについておしゃべりしています。

96年9月に仕事を豊橋市の郊外石巻山の麓に移転。ガレージセールやハーブ教室等、食と健康のための講座「いしまき市」や「女性セミナー」を開催。今後は自然とうまくつき合いながら、本当の「GENTLY」(優しく、穏やかな)を表現していきたいと

思っています。

ジェントリーの和食器の欲しい方、「いしまき市」「女性のセミナー」に心のある方、どしどしお問い合わせ下さい。



《お世話係》

- ★仙台
- ★福島
- ★北陸
- ★埼玉
- ★群馬
- ★愛知
- ★滋賀
- ★大阪
- ★大阪
- ★神戸
- ★岡山
- ★広島
- ★香川
- ★四国
- ★福岡
- ★福岡
- ★熊本
- ★大分
- ★宮崎



第189・190回 ニコニコ離婚講座

し込み下さい。

大阪のニコニコ離婚講座

〔3月〕都合によりお休みです。

〔4月〕4月5日(土)午後1時半

～4時半、ドーンセンター(大阪府立女性総合センター)中会議室

で。宮崎日出邦氏(元家裁調査官)

の「婚姻費用分担と養育料の算出

に関する考え方と実際について」。

参加費1500円。

★大阪の例会

3月22日(土)午後1時半～4時半、竹川法律事務所で。

☎06-393-1133

竹川法律事務所

★大阪のピクニックのお知らせ

5月4日(土)に大阪ハンドのピクニックを行います。行き先は神戸しあわせの村を予定しています。

温泉、温水プール、アスレチック

等々、シニア組・子連れ組共楽し

めます。弁当、水筒等必要なものは各自持参。詳細は5月号で。お

問合せは大阪世話係 まで。

★埼玉の例会

3月23日午後1時～東武東上線朝霞台駅・JR北朝霞駅近隣の散策。わくわくドーム(スポーツセ

ンター)で汗を流したり、博物館を見学し、楽しみましょう。

▼4月29日(火) モでハンド

174号発送。都合のつく方お手

伝いお願いします。

いずれも詳細は 一まで。

☆

離婚一〇番

日時、番号をよく確認して下さい。

〔電話番号〕

☎03(3261) 1835

☎03(3261) 1836

〔日時〕

▼第1、第3、第5土曜日の午後5時～8時▼第2、第4土曜日の午後2時～5時

★購読料について

次の3通りの方法があります。

①1年間3600円(送料共)

②2年間まとめて前払いの場合、7200円を6000円に。

③出社払いもしくは免除

どうしても苦しい方は、いつでも遠慮なく申し出て下さい。

期限切れの通知の入った時に、お振りこみ下さい。

(振込先) 各地の郵便局にて

00140161120542

ハンド・イン・ハンドの会

■事務局便り■

★大阪の離婚講座100回記念シンポジウムに行ってきました。大阪の方々のパワーや、ボランティアなのにシッカリ役割分担されていることにびっくり。そして3才の子どもも大阪弁を話しているのに二度びっくり! (橋本)

★和歌山にログハウスを作ったから、使ってもらいたいと服部さん、3人の子を抱えて離婚、今は自分で建設会社を経営し、女性のためのシェルターを開こうという山之上さん、シニアハウスを計画している佐々木さん、性教育でお役に立ちたいという養護教諭の竹田さん、財産分与も養育費もなしの出発で今では見扶がもらえないほど経済的自立ができたという世話係の渡部さん。記念シンポの後のハンドの懇親会は、元氣一杯の30人の女の話しに感動!でした。感動ついでに宿泊先のホテルのバーで二次会。久々に楽しい大阪の会合でした。 (岡)

★二次会で、時を忘れ皆さんの終電近くまでおしゃべり。不思議なまでの関西女性の連帯感。関西弁の夢を見ました。 (向井)